

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 11月 13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	(株) アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	広島県尾道市向島町立花3010-23 0848-20-6022		
自己評価作成日	平成25年10月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3474100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3474100348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年11月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>平屋造りなので、両ユニット間をいつでも行き来して、入居者同士の交流が取れる。また、主要道路に面していないので、いつでも安全に散歩に行くことが出来る。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員一人ひとりが事業所を良くしようという姿勢で、チームワークも良くアットホームな雰囲気がある。理念に「家庭的な環境の中で」を掲げ、職員は利用者に寄り添いながら、穏やかでゆったりとした生活を笑顔で支援されている。食事は、利用者の好みを聞きながら、3食とも職員の手作りで、家庭的な味のメニューになっている。開設から8年が経過し、利用者の重度化が進む中、毎日の体操の時には、利用者が順番に号令をかけたり、積極的に役割を担って、楽しく体を動かし、身体機能の維持に努められている。前回の外部評価の改善点を踏まえ、地域との関わりは、事業所の夏祭りや大学生の落語巡演に、近所の人に参加されたり、老人会のカラーリング大会へ利用者と共に参加するなど、少しずつ地域とのふれあいが深まっている。災害対策については、利用者も参加して夜間想定の実演を行い、改善に取り組まれている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型サービスの意義を理解し、それに基づいた理念を職員全員共有し、玄関にも掲げ、常に目につくようにして実践している	申し送りやカンファレンスなどで理念を振り返り、基本に戻るよう努められている。日々の取組みの中でも機会をとらえ、「基本的人権が保護され、家庭的な環境の中で、地域との交流を通じて、生きがいを持って生活できるよう」理念の確認を行い、意識統一を図り、日々の利用者のケアの実践に取り組まれている。	日々のサービスにおいて拠り所となるように、理念を掘り下げ、より明確で具体的な行動目標や方法を、職員全員で話し合い作りあげ、実践、評価を行うことが望まれます。より一層、理念の定着に取り組まれることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には、ご案内頂き、なるべく参加している。会合なども、ホーム長が参加するなど、地域の一員として溶け込めるよう交流を深めている。	運営推進会議で地域情報を得て、老人会のカラーリング大会へ利用者と共に参加され、地域との関わりをもつ努力をされている。事業所の夏祭りや大学生の落語巡演に、近所の人に参加されたり、子供神輿の立ち寄り、幼稚園児やボランティアの訪問など、少しずつ地域とのふれあいが深まっている。町内会総会にホーム長が出席し、理解が広がるように、事業所の取り組みを伝えられている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事に、入居者と共に参加することで、地域の方に、認知症の人の理解と開かれた施設づくりをめざしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	毎回、ご家族から貴重な意見をいただき、即座にその場で解決できる問題であれば、その場で皆で討議している。	2か月ごとに、家族会と合わせ運営推進会議が開かれ、家族、民生委員、地域包括支援センター職員が参加し、自由に意見交換がされている。参加者からの意見や地域情報、家族からの提案の肺炎球菌のワクチン接種など、サービス向上に活かされている。参加されない家族には、議事録を送り、情報の共有が図られている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町に地域連携会議の案内と、内容報告を提出し、施設の日々や取組みを見て頂いている。わからない事などがあると、気軽に相談にのっていただいている。	市の担当者とは、運営推進会議の議事録を提出する際に意見交換し、事業所の取組み状況を理解してもらっている。行政との連携を大切と考え、日頃から市の担当者に様々な相談や質問を行い、相談できる関係を築かれている。地域包括支援センター職員は、運営推進会議への参加で、良好な関係が築かれており、情報や問題点が共有されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>個々で捉え方に違いがあるが、基本的にはスタッフは理解しており、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	<p>その人らしく自由に過ごして頂くよう、見守りの支援が行われ、日々の支援の中で気になる時は、そのつど話し合いが持たれている。職員一人ひとりがケアを振り返り、気づく試みとして、初めて、対応・言葉づかいなど虐待のアンケートを実施し、閲覧することで、個々の意見が確認できるように取り組まれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待についても施設内研修を行い、意識の再確認をしながら、ケアにあたっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に当施設の入居者様も、成年後見制度を利用されていますし、常に情報交感等を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には事前に説明をさせていただき、充分理解したうえで本契約の運びとしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>2か月に1回の家族会及び運営推進会議の時に、ご家族から意見が出たり、要望があれば、それに向けて対応させていただいている。（家族会の報告は、カンファの時にしている）</p>	<p>面会時や家族会、運営推進会議の機会に、家族の意見や要望を言いやすい環境づくりが心がけられている。肺炎球菌のワクチン接種の提案には、迅速に対応されている。出された意見や要望は、職員間で話し合い共有し、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの声は大事にしたいと思っているので、カンファなどで取り上げて話し合っている。すぐ却下ではなく、一応取り組む姿勢を示し、良ければ続行。</p>	<p>ホーム長は、日々の職員の声を聞くことが大切と考えられている。毎月1回の合同会議では、自由に意見や情報を話し合い、働きやすい環境となっている。清拭からシャワー浴へ変えてあげたいという職員の声から、対応方法を検討し実現するなど、職員間はチームワークも良く、何でも話せる雰囲気作りができています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの生の声が聴ける環境づくりをすることで、しっかり話し合い、改善できる事はしている。又、激務にならないよう余剰人員ができる余裕のある人員配置をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップの為に研修は、参加しやすいよう、研修費・交通費など施設側が負担してくれている。施設内研修にも、取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣のグループホームの運営推進会議に互いに参加しあうなど、ネットワークづくりが出来つつある。良い所は学び、サービスの向上につなげたい</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>出来るだけ要望にお応えするように配慮している。利用者様との信頼関係が一番なので、スタッフ一同、気配り・心配りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>契約の時に、ご家族の今までの苦労話などに耳を傾けながら、当施設での対応方法などを説明させていただいている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>まずは事前面接に行き、その時の聞き取り調査・本人との面接などで、もう少し在宅で可能か、当施設向きではないと思えば、他の施設などの利用もあるなど提案はさせて頂く。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様は皆様、人生の経験者・先輩なので、常にお互いに勉強させていただいているという気持ちで、接するように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様のご家族とも、来所の折には施設での生活の様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えていただくなどしながら、日々の対応に役立てている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>当施設は夜間・深夜以外は、面会はいつでもとりついでいる。</p>	<p>地域とのつながりを大切にしながら、友人が訪ねて来られるなど、馴染みの人々との関係や交流が途切れないように支援されている。正月の自宅への外出や外泊、家族旅行、受診時に家族と自宅へ帰られたり、外食に出かけられるなど、家族の絆を大切にする支援に努められている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教えあったり困っていたら声掛けあって、皆さん共同生活されている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても、気にかけてくださり、入居者様を紹介して下さったり、近くに来たからと立ち寄ってくださるご家族様もいる。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	なかなか思い通りの生活は叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように、本人の意思・意向を尊重しながら、日々対応に努めている。	職員は、1対1になるときに、ゆっくりと話をしながら、一人ひとりの思いや意向を聞くように努められている。言葉でうまく表現できない利用者であっても、日々、寄り添い、表情や行動を見落とさないように、本人の意向の把握に努め、利用者の思いに添った生活の実現に向け努力されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話の中から生活歴を引き出したり、ご家族にお聞きしながら、日々の対応に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々で違うので、お一人ずつに適した生活様式をスタッフが把握して、その日に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・ご家族の意向に沿った介護計画ができるよう、主治医の指示も仰ぎ、カンファレンスでも話し合いながら、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者、家族の思いを踏まえ、利用者の身体状況、医師の意見や日々の関わりの中での気づきをカンファレンスで話し合い、介護計画を作成されている。サービス担当者会議へ家族の参加は難しく、面会の機会に、計画の説明をし理解してもらっている。6ヶ月ごとにモニタリングと見直しが行われている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化や、気づきなど、事細かく個別記録に記入することで、職員間で情報の共有をし、ケアや、介護計画にいかしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来る限り、入居者やご家族の意向に沿うよう心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで、出向ける事には参加しているが、人が限られてしまうので、施設にボランティアなどで、入って来て頂くことで、生活に張りが出てきている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医が有るので変わっていただきますが、往診可能のかかりつけ医を受診されている方は、そのままかかりつけ医の受診の支援をしています。</p>	<p>かかりつけ医は本人・家族が希望される医療機関とし、家族が同行できない場合は事業所が対応され、受診後報告し、情報の共有が図られている。日々の利用者の健康管理は、看護職が行い、定期的な訪問診療と24時間連絡体制も築かれており、適切な医療を受けられる体制が整えられている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>非常勤の看護職員の出勤時には、利用者様の特変を報告、適切な指示をあおっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>状態にもよるが、できるだけ入院期間は短期間が望ましいので、様子を伺いに病院関係者と密な連絡を取るよう心がけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医からの指示により、終末期に向かう段階でご家族様とは話をさせて頂き、ある程度方針を決めて看取りまでの過程を説明をしている。</p>	<p>入居時に、事業所で対応できることを説明し同意が得られている。これまでも看取りを経験されており、重度化や終末期に向けたケアは、主治医や家族との十分な話し合いのもと、方針の共有化を図り、看護職員のアドバイスを受け全員で支援に取り組まれている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するように指導している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に避難訓練及び救命救急の指導を実施している。</p>	<p>年2回の避難訓練のうち1回は、消防署立会の下、利用者も参加して夜間想定訓練が行われている。緊急連絡網に、携帯番号だけでなく、自宅の番号も加えたほうが良いと職員の声で、見直しされた。地域を巻き込んでの訓練は行われていないが、事業所として働きかける努力はされている。スプリンクラーが設置され、2日程度の食料や飲料水が備蓄されている。</p>	<p>海に近い立地条件にあり、水害、地震など、あらゆる災害を想定した避難訓練の実施が望まれます。課題の多い夜間の避難については、事業所だけの問題でなく、地域全体で対応を考える取り組みを期待します。住民も含め、具体的にどんな事を協力してほしいかを話し合い、災害時の協力体制作りを働きかけていく努力を続けてもらいたい。</p>



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	充分その点では配慮している。居室を開けるときには中に居られなくてもノックをして、必ず利用者様に声をかけて入室するように努めている。	「基本的人権が保護され」の理念の実現に向け、職員全員で自然な声かけやさりげないケアに努められている。職員は、居室に入る時は必ずノックをしたり、利用者に対する呼び方や言葉づかいに注意を払い、利用者一人ひとりの尊厳を大切にした対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては、即座に対応できる範囲でお答えさせていただくようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが個々の自主性を優先させて、強要ではなく一人一人の思いを大事にしなが、時には全員そろって体操などを行ったりしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時、鏡を見てもらって笑顔と整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしなが、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚は大事にしたいので、四季折々の旬の物を提供したいと考えています。勿論、食事は一緒に、メニューの話や材料などで話が広がります。片づけ・下膳・食器拭きなど分担して手伝ってもらっている。	利用者の好みを聞きなが、毎食、手作りされ、瀬戸物の食器を使われるなど、家庭の雰囲気を大切にされている。利用者も個々の能力に応じて、買い物や片付けなどをして頂いている。職員も一緒に、共に語りなが、家族団欒の食事風景である。外食を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量・形態・時間・回数など，一人ひとりの状態に応じて支援するようにしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声掛け・介助をさせていただいています。ご家族とご本人の希望に合わせて，月に2回歯科衛生士による口腔ケア訪問をされている方もいます。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の自覚がない方には，排泄状況を記録し定期的な誘導を実施しています。また訴えの難しい方に対しては表情などの観察も行うようにしています。</p>	<p>一人ひとりの様子から，排泄習慣を把握し，声かけや見守りで，自立に向けさり気なくトイレ誘導に努め，トイレでの排泄を大切にされたケアが行われている。夜間は時間で起こすのではなく，安眠を第一に考え，利用者に合わせて支援が行われている。ヨーグルトを毎朝食べるなど，便秘の予防にも努められている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防の為，毎朝ヨーグルトとバナナを提供している。また体操と水分補給取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時には，その都度時間に関係なく入浴支援を行っている。また，通院などの外出予定前日に入浴希望のある方には対応させていただいている。</p>	<p>入浴は週2回，午後の時間帯に声かけが行われている。利用者ごとに入浴の日が決められているが，一人ひとりの希望やタイミングに合わせて対応されている。リフト浴の設置で，利用者の状態に応じて，安心して湯船に浸かっていただけるよう支援されている。清拭をしていた利用者も，看護職の仕事の曜日に合わせ，清拭からシャワー浴に変更するなど，一人ひとりであった支援が柔軟に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	その日の希望や体調に合わせて、昼食後に午眠をされる方とされない方といらっしゃると思います。夕食後は一人一人の時間に合わせて入室し、消灯時間は決めていません。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	毎週金曜日に、調剤薬局の方と一人一人の状態と処方内容について話をする機会を設けています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり（食器拭き・洗濯物たたみ等）、趣味や楽しみ（カラオケ・塗り絵等）が続けていけるよう支援しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	気候や体調の良い日には、出来るだけ散歩やドライブにお誘いしています。ご家族様やご友人にご協力いただき、外出をされている方もいます。	環境は、散歩に適しており、近くの公園へ出かけたり、買い物、ウッドデッキでの日光浴など、日常生活の中で無理なく外出が行われるよう支援されている。家族の協力による外出や車椅子の利用者も一緒に、ドライブやお花見など季節を楽しむ支援に取り組まれている。戸外に出かけるだけでなく、毎日のラジオ体操やユニット間を自由に歩かれるなど、体を動かすことで、身体機能の維持に努められている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご本人がお金の管理をしている方は、買い物に同行支援を行っています。そうでない方に関しても、外出時には金額を決めて買い物をしていただくこともしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人での携帯電話使用の支援や電話の取次ぎ・貸し出しにも常時対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>動作時と安静時の空調管理をしやすいように、居室に温湿度系を置かせていただいている。各ユニットのトイレ使用が重なった時には、隣のユニットに行くなどして共用している。</p>	<p>全ての共用生活空間は、自然な光が入り、清掃も行き届いている。リビングには、ソファや畳のコーナーもあり、ゆったりしてくつろげる空間となっている。リビングで過ごされる方が多く、利用者が作られた、パズルや塗り絵が飾られているが、過度な装飾はなく、静かで落ち着いた雰囲気、安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>平屋の特性を生かして、玄関ホールで好きなテレビ番組を見たり、ユニット間を自由に行き来したり、テラスに出て過ごしたりされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使われていた、馴染みのあるものを1つでも持ってきていただき、落ち着いて過ごしていただけるようにしています。（寝具・食器・写真・家具など）</p>	<p>利用者の今までの生活環境に近づくように、できるだけベッドや家具を、自宅と同じ向きに配置された居室は、清潔で整理整頓されている。使い慣れた物や大切にされている物を持ってきて頂き、心地よく生活できるような環境調整に努められている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりに何ができるかを見つけ、残存能力を活かせるような、見守り及び介助を行うようにしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 平成25年11月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	入居者様に声を出して笑っていただけるよう支援をしたい。	出勤したら入居者様とスキンシップをする。 (手を握る・ハグする。手をつなぐ等)	1年
2	35	災害対策	地域の協力を得て、一緒に訓練をする。	地域の災害訓練の時等に参加させてもらう。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。